



TOKYO
ROPPONGI
ROTARY CLUB



Weekly Report

「和気藹々」一笑顔で元気に六本木らしくー

東京六本木ロータリークラブ会長

平成31年2月4日発行 第589号

2018・2019年度 No.21

本日のプログラム

平成31年2月4日

卓話『再び同じ轍を踏む日本』

一般財団法人 鹿島平和研究所 会長(代表理事) 平泉 信之様

場所 グランドハイアット東京

略歴

1982年：早稲田大学商学部卒
同 年：PHP研究所入所 普及二部、研究本部第一研究部
1984年：鹿島建設入社 秘書室
1991年：米国ヴァージニア大学大学院経営管理学科卒(MBA)
同 年：経営戦略室
1994年：営業本部企画部企画課長代理
1996年：建築技術本部企画室兼務(2001年3月兼解)
1998年：開発事業本部プロジェクト開発部不動産投資顧問チーム兼務
1998年：株式会社イー・アール・エス兼務
2002年：ライフサイクルマネジメント室兼務(2004年5月兼解)
2005年：財務省 財務総合政策研究所 研究部 総括主任研究官
2007年：開発事業本部資産マネジメント事業部担当部長(特定課題担当)
2009年：株式会社アバン アソシエイツ 顧問
2012年：鹿島建設 取締役
2015年：一般財団法人 鹿島平和研究所 会長

会長報告

皆さま、こんにちは。

本日は嬉しいご報告がございます。地区会員委員会より新会員の方のスポンサーをしてくださった方々に感謝状が届いております。

- 鳥居 正男さんのスポンサー
マウラー・ピー・リードさん
松島 正之さん
- 岩成 尚さんのスポンサー
荻田 吉夫さん
安井 悦子さん

ご協力頂きありがとうございました。感謝状と記念のロータリーバッジをお渡しいたします。皆さまのお知り合いで六本木ロータリークラブに相応しい方がいらっしゃいましたらぜひご紹介ください。



(記:齋藤会長)

幹事報告

本日の幹事報告は4点です。

1. 昨年ロータリー財団に寄付された確定申告用の領収書を、皆様のラックにお入れ致しました。ご確認ください。
2. 2月の例会の件
2月4日(月)は鹿島平和研究所 会長平泉信之氏の卓話
2月11日は祝日のため休会
2月18日は(株)ANA総合研究所 代表取締役副社長河本宏子氏の卓話
2月25日はグアム地区大会の為振替休会(地区大会2月22日)
グアムに参加されない方はメーキャップが必要です。
皆様のご出席、宜しくお願い致します。
3. 韓国・大邱市での「第20回RI囲碁大会」のご案内
RI公認の親睦団体「ロータリー囲碁同好会」主催の「第20回RI囲碁大会」が韓国・大邱市で開催されます。囲碁好きの方はぜひご参加下さい。

対戦	2019年4月7日(日)9:00～16:00 18:00表彰式後に懇親会 (4月6日(土)17:00より前夜祭)
主催	ロータリー囲碁同好会(GPFR)韓国支部
登録料	18,000円
申込み	2月18日(月)までに事務局にお願い致します。

4. 「Swing of Rotary 1st live 2019」のご案内

RI第2750地区ジャズ同好会は「Spring Jazz Night」として「Swing of Rotary 1st live 2019」を行います。
是非、ご参加下さい。

日時 2019年3月1日(金)
開場18:00 ディナータイム 開演19:00～21:00
会場 日比谷・中日ビル「シーボニアメンスクラブ」
出演 遠藤律子ピアノトリオ& Maria Eva
料金 8,000円
申込み 2月18(月)までに事務局にお願い致します。

(記:柏原幹事)

2018-2019年度 第七回 理事会議事録

平成31年1月21日

日時: 2019年1月21日(月)例会終了後(13:45～14:30)
場所: グランドハイアット東京「ドローイングルーム」
出席者:理事 齋藤、大橋(寛)、角山、三田、安井
構成メンバー 柏原、浅田、片岡、篠塚、谷口、渡辺

(敬称略)

【審議事項】

1. 新入会員候補の件

柏原幹事より、細則11条①②③の規定による新入会員の選考について報告があり、承認された。推薦者は今村道子氏、安井悦子氏。その後、同第二項に基づき会員選考委員会の適格審査を予定。

【報告事項】

1. 事務局移転の件

齋藤会長より、現在の事務局の賃貸借契約を今月中に更新し、1年半後を目途に事務所の移転を検討することが報告された。

2. ミクロネシア日本語教育支援の件

齋藤会長より、現在、ミクロネシア短期大学と共同で行っている日本語教育支援について、先方の受け入れ態勢が固まらないため、本年度は実施を見合わせたい旨、報告された。

卓話『イギリス大学院留学を終えて』

平成31年1月21日

2017-2018年度グローバル補助金奨学生 中谷菜美様

2017-2018年度に、東京六本木ロータリークラブにスポンサークラブとなつていただき、グローバル補助金奨学生として派遣いただいた中谷菜美です。イギリスのキングス・カレッジ・ロンドン、International Child Studies修士課程で勉強させていただき、昨年9月に日本に帰国いたしました。派遣にあたり温かい応援をいただき、本当にありがとうございました。大学院終了後は、アフリカのウガンダという国で4ヶ月ほどインターンをし、今年1月に帰国しました。今日は、大学院留学のご報告に加えて、インターンの経験、そして今後のキャリアについてもお話しさせていただきます。

私は、国際機関にて、脆弱な立場に置かれた子どもたちへの支援活動に携わりたいとの想いで、子どもの保護という分野を中心に勉強してきました。子どもの保護とは、一言で表現すると、子どもを全ての形態の暴力や搾取から保護することを目的とした活動です。具体的には、虐待の現状や子どもに及ぼす影響、予防・対応方法、家族と一緒に暮らせない子どもへの代替ケアのあり方といった日本にも共通する内容、そして途上国でより課題となっている児童婚、FGM（女性器切除）、少年兵、児童労働といったテーマについても学びました。ロータリーの重点分野である『平和と紛争予防/紛争解決』に関しても、親と離れ離れになった難民の子どもへの保護の問題や、紛争などの緊急時の子どもの保護について学んだほか、難民問題に関する様々なセミナーに参加して知見を広めることができました。

在学中には、勉強だけでなく、セーブ・ザ・チルドレンUK（イギリス）のボランティア活動にも参加し、ロヒンギャ難民の子どもたちの人権を守り支援を充実させることを訴えるキャンペーン活動を行いました。子どもを取り巻く課題に

対して理解を深められただけでなく、例えば政治家に直接話をしに行ったり、署名を国会に提出したり、国民に対するイベントを開催したりと、様々なキャンペーン手法を学んだり実践したりする中で、啓発活動をどう戦略的にいに行い影響を及ぼしていけるのかという意味でも、とても勉強になりました。

修士論文では、発展途上国における子育て支援を通じた虐待予防について研究しました。このテーマを選んだ理由は、紛争や災害などの困難な状況に置かれた状況で子どもの健全な発達が保証されるには、子どもをケアする親への支援も重要となるからです。ストレスが高まる環境の中で子育てのサポートをすることで、子どもが虐待や体罰などを受けるのを防ぐことができます。また途上国を中心とする多くの国では、体罰や心理的虐待ともみなされる子育て（怒鳴ったり、子どもの感情の否定）が習慣的に行われている状況もあり、国際的にもこれらを含む子どもへの暴力を根絶することが目標の一つとされています。このような背景から、子育てを通じた虐待の予防は、今後自身が子どもの保護官として働く上で、専門性の軸となるのではないかと考えました。研究では、様々な文化的背景を持つ人々の間で、暴力を伴わない子育てを普及していくためのポイントなどが明らかになったため、この知識を今後の活動に活かしていきたいと思います。

現地では、エッジウェア・スタンモア（Edgware and Stanmore）ロータリークラブのみなさんがホストクラブとなってくださり、たくさんのご支援をいただきました。多くの行事にもご招待いただき、シェークスピアの故郷、ストラッドフォード・アポン・エイヴォンという街で開催されたロンドンの地区大会にも参加させていただきました。地区大会では、奨学生から挨拶をさせていただく機会をいただき、ホストクラブの方々だけでなく多くのロータリアンの方々と交流させていただきました。また、ロータリアンの方が中心に運営されているフード・サイクルという団体のボランティア活動にも参加させていただきました。スーパーマーケットから寄付してもらった食材を3品のコース料理にし、ホームレスの方や難民、孤独を感じている人などに無料で提供する取り組みですが、食料廃棄と孤独という2つの地域の課題に対応しているとのことで、イギリスの抱える課題を垣間見ることができました。そのほかにも、ホストクラブの毎年恒例の寄付金募集のクイズ大会や、ロンドンのロータリークラブ全体で主催している若い世代の音楽を支援するユース・ミュージック・コンサートなど、様々な活動に参加させていただきました。ロータリアンのお一人お一人が、地域でのボランティア活動に積極的に参加していらっしゃる姿を見て、ロータリーの地域貢献への姿勢を改めて実感することができました。ロータリー活動に誘ってくださるだけでなく、ロンドンでの生活、勉強、キャリア構築全てにおいて多くのサポートをいただいたカウンセラーのフランさんには心から感謝していますし、ロンドンの母のように思っています。素晴らしい出会いを与えていただき、ロータリーの奨学生として派遣いただいたことをとても幸せに感じています。

大学院留学の後、2018年9月から、2019年1月まで、ユニセフのウガンダ事務所にてインターンをしてきました。将来ユニセフ職員として働くため、ユニセフの仕事の進め方を理解するとともに現場経験を身につけたいという動機で留学中に応募し、専門分野である子どもの保護の部署に配属されました。ウガンダの子どもの保護の部署では、児童養護制度の強化、少年司法制度の改善、児童婚（18才未満の子どもの結婚）や早期妊娠の削減、出生登録率の向上などの分野に、ウガンダ政府とともに取り組んでいます。私はその中で、子どもの保護事業の広報記事の作成や、子どもの意見を事業に取り入れていくための戦略作り、事業管理のための指標の作成、難民に対する子どもの保護事業（チャイルド・フレンドリー・スペースという子どもが安心して遊べる場所にて心理社会的支援を提供したり、親と離れ離れになった子どもに代替的ケアを提供したりする活動）の補助業務などを担当していました。

地方出張を通じて現場を見る機会も与えていただいたのですが、その中でも印象的だったのは、児童婚のサバイバーの女の子を取材するために、ウガンダ北部の農村地域に出張に行ったことです。ウガンダでは、現在20-49才の女性のうち、49%が18才より前に結婚しており児童婚が非常に多い状況です。児童婚は若年層の妊娠による母子の健康リスク、年の離れた配偶者との生活の中での暴力のリスク、学校教育が継続できなくなることなど、女の子にとって多くのリスクをはらんでいるため、ユニセフはその削減に取り組んでいます。取材した、ある14才の女の子は、帰りに突然21才の男に誘拐され、そのまま一晩を一緒に過ごすことを強要され、強制的に結婚させられたと話してくれました。このような行為は、ウガンダの法律では犯罪となるのですが、特に農村では、結婚前の男女が一晩を過ごせば結婚に相当すると考える習慣があり、また法制度への認識も高くないので、被害者が結婚を余儀なくされる事例が後を絶たないそうです。この女の子は、ソーシャルワーカーの助けもあり、結婚を破棄して家族の元に帰ってくることができましたが、それでも家族が結婚を破棄する代償として牛と現金を支払わなければならなかったそうです。また、別の家族は、自分の子どもは児童婚をさせたくないと考えているものの、農作物を売って得られるわずかな収入で、5人の子どものために教育を提供できる保証はなく、教育費を賄えなくなった時に児童婚が手段になってしまう可能性が否定できない状況でした。この出張を通して、児童婚という問題に対処していくには、貧困や文化や習慣など様々な要因を考慮しなければならないということを実感しました。インターンを通じて、ユニセフの事業立案や評価の方法、また子どもの保護事業の現状と今後目指すべき方向性についても理解が深まりました。さらに、同僚と様々な話をする中で、今後の自分のなりたい姿もより明確になりました。この経験を次の職場でも活かしていきたいと考えています。

今後は、今年2月中旬より、ユニセフ・マラウィ事務所にて、子ども保護事業に従事する予定です。留学前に掲げた「ユニセフの子どもの保護官となる」という目標のスタート地点に立てたことを非常に嬉しく思っています。ロータリーの皆様のご支援がなければ、このように目標を達成することはできなかったのも、心から感謝しています。今後は、イギリス大学院での学び、そしてウガンダでのインターンの経験を土台に子どもの保護分野でさらに経験を積み、脆弱な立場に立つ子どもたちが生まれ持った可能性を最大限発揮できる社会づくりの一助となれるよう努めていきたい

と考えています。今後とも、ロータリーの皆様に良いご報告ができるよう努力していきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



カウンセラーのフランさん（中央）ご夫妻と。



地区大会で、エッジウェア・スタンモア（Edgware and Stanmore）
ロータリークラブのみなさんと夕食をご一緒しました。



ユニセフ・ウガンダ事務所の子どもの保護部署の同僚と。



ウガンダ北部への出張。日干しれんがでできた壁に藁葺き屋根の家が、
典型的なウガンダの農村地域の暮らしです。

慶事会員一覧

1月のお誕生日

1月8日	フォード・マーク・リーさん
1月29日	安部 義彦(あべ よしひこ)さん



ニコニコBOX情報

浅田 豊久さん

サンディエゴの「国際協議会」から無事帰国しました。ご声援ありがとうございます。

角山 一俊さん

インフルエンザの季節です。みなさんお気を付けを！私はここ10年かかっておりません。うがいと手洗いですね。

荻田 吉夫さん

寒さに負けず頑張ります。本日の寺田様の卓話楽しみにしています。

カトー エミイさん

早く雨が降らないかなあと毎日思っています。

森 佳子さん

寺田様、本日はご多用の中卓話において戴きまして有難うございました。楽しみにしております。

大橋 寛治さん

寺田千代乃様、お忙しい中を東京までお越しいただき誠にありがとうございました。感謝、感謝でございます。

大橋 裕治さん

寺田千代乃様、本日の卓話を楽しみにしておりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

齋藤 明子さん

寺田様本日はお忙しい中ありがとうございます。

杉本 潤さん

今日もよろしくお願いします。

鈴木 聡子さん

今日は息子のお誕生日です。18歳になりました！

鳥居 正男さん

皆様今年もよろしくお願い致します。

山中 祥弘さん

寺田様の卓話、楽しみにしています。

1月28日 合計 52,000円 累計 953,000円

1月28日のお食事

東京六本木ロータリークラブ Menu <i>Seafood soup, Gruyère cheese, rouille</i> シーフードスープ グリュイエールチーズ ルイユ <i>Grilled US beef sirloin, mustard and shallot jus</i> <i>Kanazawa garland chrysanthemum purée, carrot</i> US ビーフサーロインのグリル 発芽マスタードとシャロットのジュ 金沢産春菊とポテトのビュレ 人参 <i>Vegetable salad</i> 野菜サラダ <i>Fresh strawberry soup, vanilla cream, Grand Marnier ice cream</i> フレッシュストロベリースープ クレームバニラ グランマニエアイスクリーム Coffee コーヒー 2019 年 1 月 28 日(月) 2 階 レジデンスアニス グランド ハイアット 東京	   
--	---

1月28日の例会出席率(暫定)

- 会員の例会出席数(出席率) 34名(72%)
- ゲスト・ビジターの参加者数 4名

※メーキャップを含めていない暫定の人数です。

次回のプログラム

平成31年2月18日

卓話『ANAグループの努力と挑戦』

(株)ANA総合研究所 代表取締役副社長 河本 宏子様

場所:グランドハイアット東京